

- 07/18・中東歴訪、成果見えにくく バイデン氏、インフレ対策優先も
- 07/19・債券価値、世界で 2300 兆円減 1~6 月 債務依存の成長、転機 <1>
- ・グーグルに罰金 500 億円 ロシア裁判所 侵攻巡り「偽情報」
 - ・ガス供給「保証できず」 ロシア国営 欧州企業に通告 不可抗力を理由に
- 07/20・中国、米国債保有を削減 12 年ぶり 1 兆ドル割れ 脱ドル依存鮮明
- ・G20「税の国際協調」綻び デジタル課税に遅れ 法人最低税率も逆風
新興国反発 米は内向き
- 07/21・貿易赤字最大の 7.9 兆円 1~6 月、資源高響く 中国経済減速で輸出停滞 <2>
- ・英消費者物価 9.4%上昇 6 月、40 年ぶり高水準 エネルギー伸び
 - ・米住宅販売、減速感強く 6 月中古、2 年ぶり低水準
- 07/22・欧州中銀、0.5%利上げ (21 日) 11 年ぶり インフレ抑制優先 <3>
- ・黒田氏、利上げ「全くない」 日銀、緩和継続 物価見通し 2.3%に
為替対応「合理的でない」 景気優先、緩和の必要性強調
 - ・消費者物価 2.2%上昇 6 月 3 ヶ月連続 2%超 エネ・食料高騰続く <4>
- 07/23・穀物輸出再開で合意 ロシア・ウクライナ 黒海に「回廊」
- ・円、一時 135 円台に上昇 米長期金利は低下 世界景気後退に懸念
 - ・物価の二極化鮮明に モノ 4.9%上昇 サービスは下落 6 月 <5>
- 07/24・ウクライナ支援 11 兆円に 侵攻 5 ヶ月、軍事が 45% 終結見えず疲労感も
- 07/26・「急激な円安、マイナス」 日銀 6 月会合要旨 経済への影響示す
- 07/27・EU、ガス消費 15%減合意 冬の枯渇懸念に備え ロシアは供給 8 割減
- ・韓国 GDP0.7%増 4~6 月 輸出低迷、先行き減速感
 - ・中南米通貨、対ドルで下落 資源安や左派政権を懸念 インフレ加速に警戒 <6>
- 07/28・FRB、0.75%連続利上げ インフレ抑制を優先 ペースの鈍化示唆 <7>
- ・コロナ禍貯蓄、消費下支え 日米欧、2 年で 503 兆円に 物価高の影響緩和
 - ・東南ア輸出、資源高の恩恵 食料品価格上昇も追い風 中国の景気低迷懸念も
- 07/29・米、2 期連続マイナス成長 4~6 月 GDP0.9%減 FRB 景気後退「回避の道狭く」
- 消費・投資に息切れ感 物価高、低所得層響く 雇用は高水準保つ
 - ・米中首脳、台湾巡り欧州 電話協議 習氏「火遊び、身焦がす」
- 07/30・ユーロ圏 GDP2.8%増 4~6 月年率 物価高で先行き不安
- 7 月消費者物価 8.9%上昇
 - ・米消費支出物価 6.8%上昇 6 月、40 年半ぶり伸び率
 - ・円急騰、1 週間で 6 円 一時 132 円台 米利上げ鈍化観測で
 - ・米、景気後退巡り論争白熱 2 四半期連続マイナス成長 政権は否定、雇用増強調

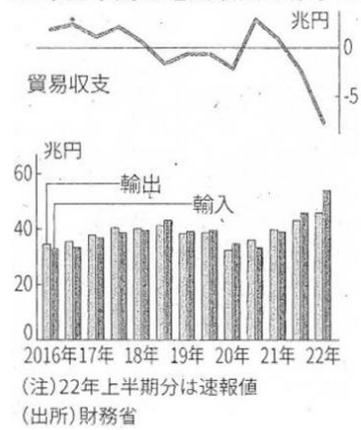
<1>

債券価値は利上げで急減



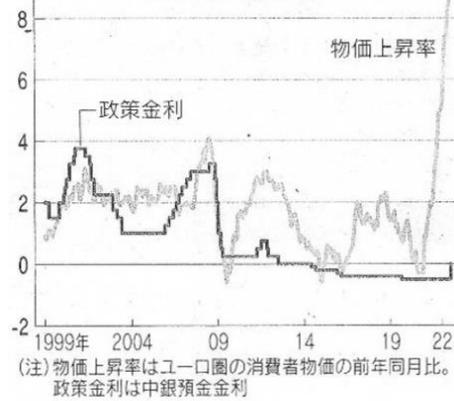
<2>

22年上半期は過去最大の赤字に



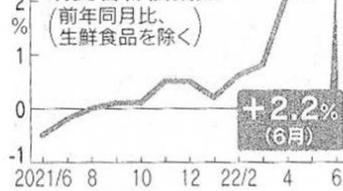
<3>

ユーロ圏のインフレ率と ECBの政策金利



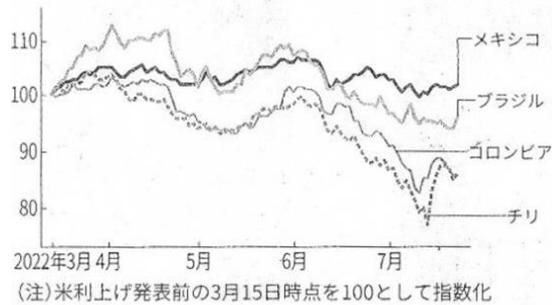
<4>

消費者物価指数



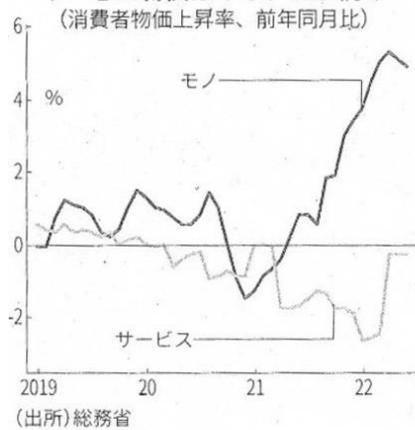
<6>

中南米通貨が下落している



<5>

サービス物価はマイナスが続く



<7>

FOMC声明要旨

景気	消費と生産の指標は鈍化
	雇用は増加し、失業率は低い
物価	物価上昇率は食品・エネルギーの高騰で高止まり
	ウクライナ侵攻が物価上昇圧力 インフレリスクを注視
政策決定	フェデラルファンド (FF) 金利の誘導目標は2.25~2.50%
	さらなる引き上げ継続が適切 国債、機関債、ローン担保証券の保有量削減を継続